

ミヤマアカネの田んぼ情報

2010年度 今年からは田んぼが3反に増えました。

4月18日 苗を撒く



子供達も苗箱の準備

籾を撒く

4月25日 1kmに及ぶ水路の整備



水路に溜まった土砂を除く

ひびが入った水路をコンクリートで補修

5月9日 畦板張り・元肥の散布・畦の草刈り

畦から水が漏れないようにビニールを敷きます



5月22日 田植え



田植機を使って植える



機械が植えきれない所は手植えをする

6月17日の様子



もち米の田んぼ(今日最終の欠損苗補充)



段々畑に水を落とす(この流れがミヤマアカネを育てる)



白くなった部分はイネミズゾウムの被害



でも、順調に育っています。



この落ち葉を朝夕に除きます。

配水パイプの取り替え 6月19日



こんな具合にして田んぼに入れる水を調節



塩ビパイプは劣化していて簡単に割れるし、破れた場所をビニール袋で補修してありました。

全て新品に交換しました。

ミヤマアカネ初見……ついにシーズン到来です。7月15日



田んぼB



田んぼA

稲が大分大きく育ちました。イネミズゾウムシの被害で葉先が白いものが多いです。またイネクロカメムシも畦際の稲で見られます。被害が大きくなりませんこと……



今年第1号のミヤマアカネ。ウスバキトンボやマユタテアマネも羽化を始めました。

ミヤマアカネの羽化の数が増えてきました。ほっとしています。7月27日現在の総個体数は28個体。7月17日に第1号のミヤマアカネにマーキングをしました。27日現在同じ場所で元気に過ごしています。



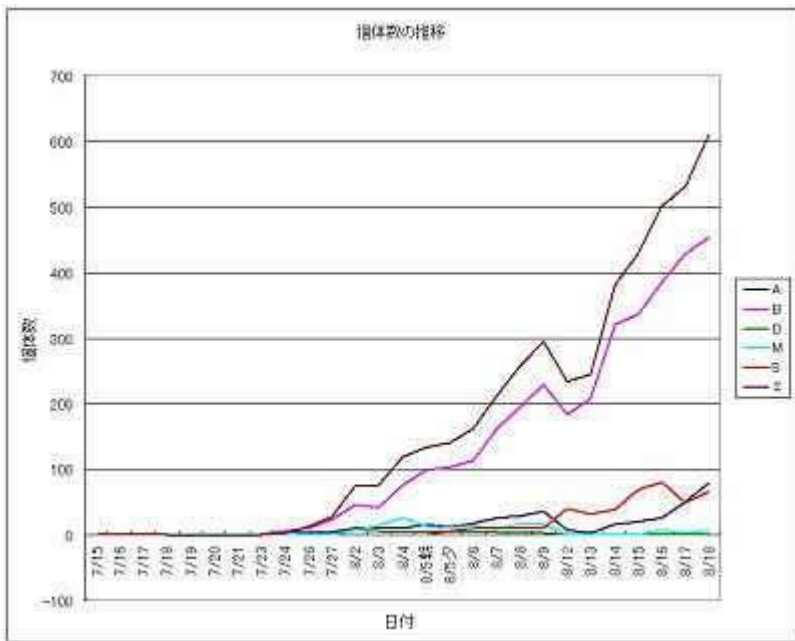
羽化直後



ナガコガネグモに捕らえられた



ひえ抜き作業(8月6日) 暑かった～～



8月18日現在のミヤマアカネの個体数。それぞれの記号は田んぼ記号。 は総数。



水口に集まるミヤマアカネ(8月18日)



夕日バックに(9月2日)



繁殖を終えた(寿命)ミヤマアカネ(9月4日)



白露の中で・・。(9月14日)



電気柵を越えてイノシシが侵入し稲を食い

10月1日の田んぼの様子

散らかす (9月15日)

/////

10月2日(土)(曇り一時雨)稲刈りと掛け干し。10月3日(日)(雨のち曇り)掛け干し。

稲を刈る(機械が使えないところは手刈り)・掛け干し用のウマを作る・ウマ用の竹を切り出す・刈った稲を掛けるという作業をほぼ平行してしました。12時頃に一時雨が降ったので、昼食を後にして作業を続けましたが、雨は一時的で直ぐに回復しましたので昼食。

昼食後は休む間も無く作業を続けました。

3日(日)は会の自然体感会と市環境保全課の主催事業(ミヤマアカネの観察と掛け干し)が予定されていたので、翌日の雨が心配でしたが刈った稲の一部を掛けずに残しました。

3日午後には雨が止みましたので多くの会員の方々が来てくれました(市環境保全課の事業は中止)。ところが、前夜からの雨で田んぼは田植え状態。皆どろどろになって掛け干しを済ませました。





2日の作業は無事終了



3日は午前中雨が降り田んぼはぬかるみ



掛け干しが終わった田んぼ

//////////

10月16日(土)晴

この日の作業は餅米の稲刈りと掛け干し、早稲米(ひとめぼれ)の脱穀です。

餅米は追肥が効きすぎ、いつまでも青々とし実が入らないのではないかと気になっていましたが、水口で冷や水の影響を受けた場所以外は、昨年よりも作柄が良くほっとしています。

いつものように、9:30に芝生広場に集合後、餅米田んぼに移動しました。今回は、少年科学館の少年科学教室生とその保護者も参加しました。主に、子供たちに稲を刈ってもらい、大人は刈った稲をワラで結ぶ作業をしました。

10年以上続けているので、刈った稲を結ぶのもスムーズでした。岩佐さんに掛け干し用のウマを作ってもらい、刈った稲を掛けました。ここでの作業が順調に進み、予定より30分以上早く終わったので、ミヤマアカネの田んぼへ移動し、9月25～26日に刈って干した早稲米(ひとめぼれ)の脱穀をしました。

ミヤマアカネ田んぼの稲は本木さんが予め一部分を刈ってくれていたもので、脱穀が済み空いたウマを稲刈が済んだ田んぼへ移設し、ウマを組み立て刈った稲を掛けました。

12時頃に昼食と短い休憩をとりました。

脱穀が済み、コンバイン袋に入った籾を運びだしあかがしの家に一時保管することにしました。しかし、田んぼがやわらかく、籾を積んだ軽トラがぬかるみにはまるなどして大変でしたが、人手が十分にあったのでこれらの作業が並行してできたために作業が早く進み、予定時間より少し遅い4時半頃に終わりました。おかげで17日に予定していた稲刈りと掛け干しは必要なくなりました。

この日、ミヤマアカネのオスが2頭メスが1頭見られ、オスの1頭には左上の翅に白のマークがついていました。これは8月9日にマーキングした個体でしたので、なんと67日(これまでは52日・53日・59日の記録があった)も生きていたこととなります。

17日に時間ができたので今野さんと精米を済ませました。玄米で580kgありました。

今後、普通米(ひのひかり)が250kg程度収穫できると思います。農業者は一反あたり籾で7俵(420kg)程度の収穫があるそうですから、ミヤマアカネ田んぼの収量は半分程度ということになります。

目的はミヤマアカネの保全ですから、大きな「おまけ」に喜ばねばと思います。

ちなみに、籾から玄米にすると80%が玄米に玄米を白米にすると90%が白米になるということです。

ミヤマアカネ米は注文された方々に1kg250円で販売していますが、収穫以上の注文があり、販売調整をさせてもらっています。

なお、ミヤマアカネ米の売り上げは全てミヤマアカネの保全に使います。



67日の生存記録を持ったミヤマアカネ



餅米田んぼの稲刈りと掛け干し

10月15日に干した「ひとめぼれ」の脱穀と「ひのひかり」の刈り取り・掛け干し

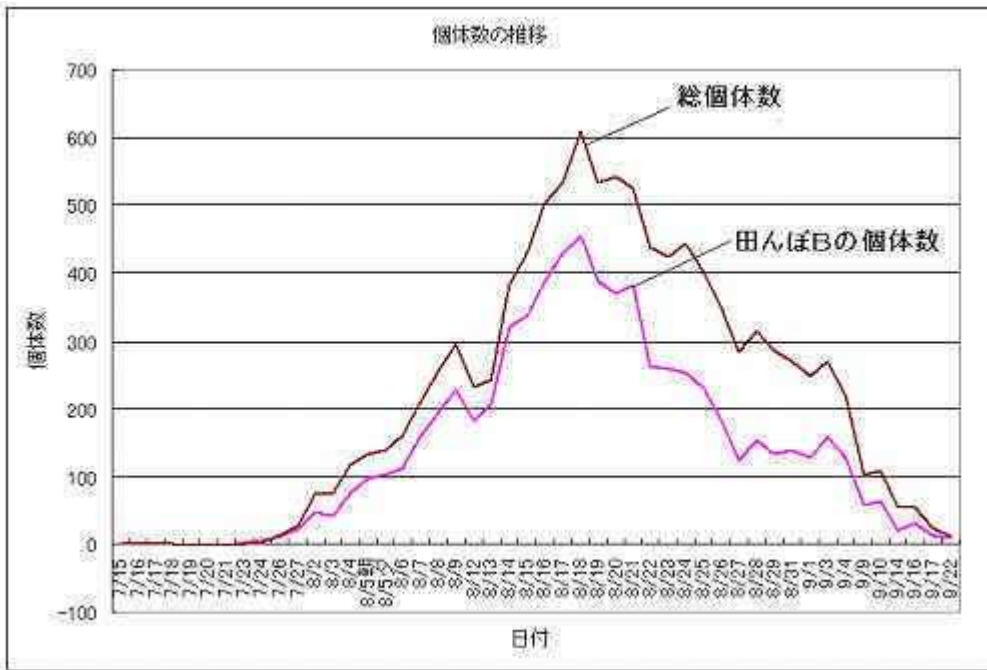


稲刈り機が使えないところは手で刈り取る



掛け干し用の竹を運ぶ

やっと終わった！！



今年のミヤマアカネ個体数の推移。